

インターナショナル・ハウス・オブ・プレイヤー（国際祈りの家：IHOP） - マイク・ビックル 預言的歴史を覚える（2019年）

セッション7 雅歌8章6節、ヘフツィバハ、神の麗しさ、赤い着物を着たイエス

I. 花婿である神としてのイエスに出会う 雅歌8章6節（1988年7月）

- A. 1988年7月、私はオフィスで、ある結婚の祝いのカードを読んでいた、そこに雅歌8章6節が書かれているのを見て祈り始めました。私は「イエス様、私の心にあなたの愛を封印のようにつけてください」と泣き始めまてしまいました。受付をしていたスタッフには電話がかかってくるまで繋がないように伝えました。10分後、彼女から内線があり、「ボブ・ジョーンズさんから電話です。あなたのために神様の肉声を聞いたそうです」と伝えられました。その時私は、雅歌8章6節を読みながら、ひざまづいて泣いていました。

「私を封印のようにあなたの心臓の上に、封印のようにあなたの腕につけてください。愛は死のように強く、ねたみはよみのように激しいからです。その炎は火の炎、すさまじい炎です。」（雅歌8：6）

- B. ボブ・ジョーンズは、主が肉声で語ったと言いました。世界中のキリストの体が雅歌8章6～7節に記されている事柄に歩むための恵みを解き放つと約束してくださり、私のこれからのミニストリーがこのテーマ、つまり第一の戒めにフォーカスするようになると言いました。その前月の1988年6月に、私たちは神との親密さに重点を置いたワーシップを重視するジョン・ウィンバーとのコネクションが与えられていました。
- C. 午前9時頃、私は妻ダイアンに電話して何が起こったか話しました。そして、初めて真剣に雅歌の全8章を読みました。私は主に言いました、「これは無理です」と。

II. 第一の戒め 稲妻が落ちる（1989年10月）

- A. ノエル・アレクザンダーは、「聞きなさい。イスラエル。...心を尽くし...あなたの神、主を愛しなさい」と言いました。彼はこれを二度繰り返しました。二度目には彼は叫んで「聞きなさい。イスラエル！」と言いました。その時、建物に稲妻が落ちました。神はこの第一の戒めと礼拝における親密さを優先することの重要性を示されました。

「聞きなさい。イスラエル。...主はただひとりである。心を尽くし...あなたの神、主を愛しなさい。」（申命記6：4-5）

- B. 聖霊は歴史上初めて、私たち全てにイエスの花嫁であるという霊的アイデンティティーを強調されます。神の子である私たちは、神の相続人として神の王座を経験する立場に置かれています。私たちは花嫁として、神の心（私たちに注がれる神の感情と愛情）を体験する立場に置かれています。

「御霊も花嫁も言う。『来てください。』」（黙示22：17）

III. 彼らをヘフツィババと呼びなさい（1995年11月）

- A. 1995年11月、私は預言的な夢を見ました。その中で私は神の民を「ヘフツィバハ」と呼ぶように促されていました。雷のような大きな声で、「彼らをヘフツィバハと呼びなさい。主の喜びはあなたにあり、あなたにあり」と語られました。突然その夢から目覚めると、神の霊が私の上に宿っておられました。このメッセージが聖霊からのものであることを悟りました。

「...あなたはヘフツィバハ（『わたしの喜びは、彼女にある』）と呼ばれ、...主の喜びがあなたにあり、...。花婿が花嫁を喜ぶように、あなたの神はあなたを喜ぶ。...わたしはあなたの城壁の上に見張り人（とりなし人）を置いた。昼の間も、夜の間も、彼らは決して黙ってはいならない。」（イザヤ62：4～6）

- B. この「ヘフツィバハのメッセージ」とは、神は花婿が花嫁を喜ぶように私たちを喜ばれるというものです。それは雅歌やダビデの「神の麗しさ」のメッセージと同じ主旨のものです。イザヤ62章4～5節のメッセージは、私たちの花婿である神、主がご自身の民を喜んでくださるというものです。この真理は、イザヤ62章6節が語っている祈りを維持するために不可欠です。花婿である神（62：4）と継続的な祈り（62：6）のメッセージの両方がイザヤ62章10節～63章6節に記されている先駆者のメッセージには不可欠です。

IV. 霊的な移行の季節 ベニー・ヒン（1996年10月）

- A. 1993年7月、私は預言的な夢を見ました。その中で私は、ベニー・ヒンと一緒にステージに立っていました。それは、私が主の「移行の季節」に入っていくことを意味していました。移行期には少なくとも三つの側面があります。まず、私たちの神に対する心や神との関わり方における移行です。二つ目に、私たちのミニストリーやマーケットプレイスにおける役割の変化があります。三つ目に、私たちの状況の中で新しい扉が開かれて私たちの新しい役割が実際に機能し始めます。
- B. 移行の季節は多くの場合、何ヶ月というより何年もかかるものです。パウロの霊的な移行にはアラビヤの砂漠での3年間を必要としました（ガラテヤ1：17）。ダビデにとってはサウロから逃れていた7年間で、ヨセフが牢獄に入れられたり出られたりした期間は12年間で、モーセはエジプトから出て40年かかりました。
- C. 1996年10月、私はある聖会でカナダのトロントのジョン・アーノットと話をしました。同時にベニー・ヒンもトロントで癒しの集会を主催していました。彼はその日の集会の前に会おうと言いました。私はステージで次のようなことを預言しました。「聖霊は国中にとりなし手を立ち上がらせておられます。」その夜のジョン・アーノットの聖会では、そのミニストリーの主要な預言的声であったマーク・デュポントが私をステージに呼んで、「あなたは移行の時を歩んでいます」と預言しました。

V. 神よ、あなたは麗しい方です（1996年11月30日）

- A. 1996年11月30日の夜中、徹夜祈祷会の中で神の臨在に触れられて、私は一つのことを続けて（0時から5時まで）祈っていました。私が「イエス様、あなたは麗しい方です」と言うと、その度に神の臨在が私の上に押し寄せるのを感じました。私は、「キリストの体よ、麗しい神に門を開きなさい」と言いました。祈祷会は午前5時に終わりました。私は9時に教会に戻って、その後2時間ほど「あなたは麗しい神です」と言い続けました。私がそう言う度に、神の臨在が私の上に押し寄せました。神の麗しさを知らしめるムーブメントの重要性について、聖霊が臨在を通してはっきりと証ししてくださったことに私は心を打たれました。

- B. 翌週、ある女性から手紙が来ました。手紙には、「11月30日、先週の土曜日の早朝にあなたの夢を見ました。その夢の中で主は、ご自身の麗しさについての啓示をあなたに解き放ってくださいと言われました。主の麗しさに入るように教会に呼びかけて欲しいとあなたに望んでおられます」と書かれていました。

VI. 花婿の友人（1997年5月7日）

- A. 1997年5月7日、イタリアのアッシジで主が「わたしは、先駆者のメッセージを携える『花婿の友人』を立て上げます。彼らは花嫁を整えるために用いられます」と語られました。（ヨハネ3：29、黙示19：7）私たちに与えられている最も重要な召しの一つは、「先駆者のスピリット」によって神の国の福音を述べ伝えることです。

「花婿の言葉に耳を傾けているその友人は、花婿の声を聞いて大いに喜びます。」（ヨハネ3：29）

「…子羊の婚姻の時に来て、花嫁はその用意ができたのだから。」（黙示19：7）

- B. 花婿のメッセージの中には、私たちへの神の感情と花婿である神としての約束、そして私たちからの神に対する捨て身が必要とされます。この花嫁のパラダイムは、神の国に関する「花嫁の視点」または視野を意味します。忠実で献身的な愛を持った花嫁の目から神の国を見ます。神からの愛と神に対する愛を感じることはなければ、容易に妥協や霊的倦怠に陥ってしまいます。

VII. 先駆者のメッセージへの移行、イザヤ40章3節（1997年7月）

- A. 1997年7月、リック・ジョイナーが私に預言し、「これから数週間の中に主があなたに訪れます。あなたは移行の時に置かれているので、あなたの人生の任務について語られます」と言いました。
- B. 1ヶ月後の1997年8月27日、私は預言的な夢を見ました。私のミニストリーの一部はイザヤ40章3節にあると示されました。いかに人々を整え、神のために大路を築くかということでした。

「主の道を整えよ。荒地で、私たちの神のために、大路を平らにせよ。」（イザヤ40：3）

「…この民の道を整え、…大路を造れ。…国々の民の上に旗を揚げよ。」（イザヤ62：10）

VIII. 主の御名を宣言する 赤衣着物を着たイエス（1997年9月）

- A. 1997年9月3日の祈り会の中で、聖霊が三つの聖書箇所を明確に強調されました（黙示2：17、3：12、19：12）。聖霊の風と火が何時間もの間私の上に現れているのを感じました。

「…わたしは勝利を得る者に隠れたマナを与える。その石には、それを受ける者のほかはだれも知らない、新しい名が書かれている。」（黙示2：17）

「…わたしは彼の上にわたしの神の御名と、…わたしの新しい名とを書きしるす。」（黙示3：12）

「…ご自身のほかはだれも知らない名が書かれていた。」（黙示19：12）

B. その集会の最後に、テリー・ベネットが私にメモをくれました。「主が私に黙示録2章17節、3章12節、19章12節から語られた時に、私の上に聖霊の風と火が置かれているのを見た」とありました。明らかに主は、これらの真理をこのムーブメントの土台としてしっかり確立されたいのだということがわかりました。

C. 1997年9月17日の祈り会の中で、聖霊がイザヤ63章1～6節を強調されました。再び、聖霊の風と火が何時間も私の上に現れました。そこには、王イエスが裁判官として赤い着物を着て国々を歩かれると記されていました。私は、「あなたの着物は素晴らしいです。なぜ赤いのですか？王ならば白を着ているべきです」と言いました。

「『エドムから来る者、ボツラ（エドムの首都）から深紅の衣を着て来るこの者は、だれか。その着物には威光があり、大いなる力をもって進んで来るこの者は。』『正義を語り、救うに力強い者、それがわたしだ。』『なぜ、あなたの着物は赤く、あなたの衣は酒ぶねを踏む者のようなのか。』『わたしはひとりで酒ぶねを踏んだ。国々の民のうちに、わたしと事を共にする者はいなかった。わたしは怒って彼らを踏み、憤って彼らを踏みにじった。それで、彼らの血のしたたりが、わたしの衣にふりかかり、わたしの着物を、すっかり汚してしまった。...わたしは見回したが、だれも助ける者はなく、いぶかったが、だれもささえる者はいなかった。そこで、わたしの腕で救いをもたらし、わたしの憤りを、わたしのささえとした。』（イザヤ63：1～5）

D. イエスはひとりで酒ぶねを踏まれました（63：3、5）。この地の政府で神の裁きに同意するものはないことを悟りました。イエスはひとりで国々を踏みにじられます。イエスは私に、「あなたはわたしに同意しますか？」と聞きました。私は何度も繰り返して「はい」と答えました。するとイエスは「あなたはわたしの民である何人かの人たちから拒絶されます。彼らはあなたに対抗します」と言いました。私は「雅歌5章10節の輝く白い着物を着たイエスとイザヤ63章2節の赤い着物を着たイエスを宣べ伝えます」と主に約束しました。テリーが私のところに来て「2週間前にあなたに風と火をもって触れた同じ天使がまたここに来ています」と預言しました。彼は続けて「赤い着物を着たイエスがあなたのところに来られます。あなたにイザヤ63章の外套を着せてくださいます。あなたはこの章を熱心に学ばなければなりません。あなたは、他のミニストリーと一緒に、赤い着物を着たイエスについても説教するように召されているからです」と言いました。